

はじめに

平素は西京極総合運動公園プール施設（アクアリーナ）、西院公園テニスコートの指定管理事業に対してご理解、ご協力をいただき、ありがとうございます。

令和7年度は夏の暑さ対策や設備不具合の発生など1年通して安全・安心を考える年だったように思います。プールについてはやはり夏の暑さが課題であり、現状の空調能力では室内を快適な温度に保つのが非常に厳しいところとなっております。夏の暑さにかんしては猛暑・酷暑が年々強くなってきておりますので、何かしら抜本的な改善・改革が必要であると感じます。

西院テニスコートにおいても屋外利用のため、熱中症などのリスクもかなり高まってきております。パラソルの設置は随時行っておりますが、まとまった避暑地の設置など積極的な対応を考えてまいります。

スケートリンクにおきましては、11月に宇野昌磨さんのアイスショーを誘致することができ、本田真凜さんの京都凱旋もあり、京都公演が非常に盛り上がりました。また、今年は冬季オリンピックの年であり、スケートリンクの需要が高まり、例年に比べて多くの方がご来場されました。また、アイスリンク上でのイベントにも非常に多くの方にご参加いただきました。

今年度の内容を基に事案に対して先読みのできる体制を今後一層強化してまいります。

令和8年5月30日

アクアリーナ・西院スポーツネットワーク

代表企業 美津濃株式会社

代表取締役社長 水野 明人

（報告者：統括支配人 中窪 泰隆）

目次

I 事業報告

(1) 施設利用状況について

(2) 自主事業について

① スポーツ振興事業

② スクール事業

③ その他事業

(3) 施設運営トピックス

II 収支報告

(1) 全体収支

(2) アクアリーナ収支

(3) 西院公園収支

III 施設管理業務報告

(1) アクアリーナ

(2) 西院公園 ((1) 施設利用状況で報告済)

(3) 弊社による修繕・購入内容

(4) 市内中小企業等への発注

I 事業報告

(1) 施設利用状況について

【京都アクアリーナ】

24年度と比較して大きな変動があったのが、プール利用とスケート利用になります。プール利用については24年度の11月12月にサブプール休業のため利用者数が少なくなっているのが理由となります。プール子ども利用に大きな変動がないのは、休業期間中に別のスイミングスクールに替わった会員が回復していない事を示唆しております。

スケート利用につきましては、冒頭にも申した通り冬季五輪の影響が非常に色濃くでたところかと思えます。

【一般利用】				
	2025年度			2024年度
	開館日数	平均	人数計	人数計
プール大人	280	169	47,575	43,643
プール子ども	280	101	28,494	28,190
トレーニングR	314	94	29,621	31,885
プール&トレーニング	257	5	1,315	1,280
スケート大人	121	150	18,162	14,213
スケート子ども	121	120	14,581	13,598
アーチェリー大人	314	7	2,394	2,599
アーチェリー子ども	314	0	176	276
ボルダリング大人	314	3	1,012	1,170
ボルダリング子ども	314	0	242	298
合計	2,001	71	142,318	137,152
【障がい者利用】				
	2025年度			2024年度
	開館日数	平均	人数計	人数計
プール大人	280	65	18,235	15,749
プール子ども	280	3	1,036	880
トレーニングR	314	32	10,105	9,461
プール&トレーニング	257	2	667	548
スケート大人	121	12	1,559	1,445
スケート子ども	121	1	207	254
アーチェリー大人	314	0	26	55
アーチェリー子ども	314	0	0	4
合計	2,001	16	31,835	28,396
<施設別計>				
			2025年度	2024年度
施設	算出式		人数	人数計
プール	1+2+9+10		95,340	88,462
スケート	5+6+13+14		34,509	29,510
トレーニングルーム併用含む	3+4+11+12		41,708	43,174
アーチェリー場	7+8+15+16		2,596	2,934
ボルダリング	9+10		1,254	1,468
合計			174,153	165,548

・強化支援利用 812名 (昨年786名)

メインプールを京都水泳協会と連携して強化練習場としてゴールデンウィークや夏休み期間などに合宿の受け入れを行っております。また、ダイビングプールではアーティスティックス

イミングや水球の練習場として活用いただいております。秋には国体合宿や中体連の冬季合宿の場としても受け入れております。

・会議室利用 109回（昨年94回）例年の通り大会時の控室や各シーズンに置いて競技団体様の打合せ会場および研修会場としての活用や、健康健診会場としての活用なども見受けました。今年は団子田町の地蔵盆の会場としても貸し出しを行い、熱中症対策という事で、今後も継続的に会議室の貸し出しを行ってまいります。

【ボルダリング】

今年度はボルダリング講習会の申込状況を見て、月に1回の実施に変更いたしました。開催数は減りましたが、受講者及び利用者についても昨年度を超える利用がありました。

4半期毎に課題の変更と、年に1回ストーンを取り外した全体清掃と配置変更を行い、利用者に飽きを越させないよう工夫いたしました。



	参加者数	実施回数
一般利用	1,254名	314日供用（昨年1,468名）
講習会	196名	計12回（昨年12回202名）

【西院公園】

※昨年稼働率につきましては、新規予約システム導入のため集計ができておりません。改めてご提出させていただきます。

昨年の動向としまして、やはり土日の稼働が非常に高く、加えて大会が多く催されることで、利用者より土日の使用が非常に困難になっており、特に季節の良い春・秋にかけて予約が取れないなどのお声をいただく事がありました。

また、一般団体様より大会などの催しをしたいがどうすればよいかなどの相談も増えてきております。

(2) 自主事業報告

① スポーツ振興事業イベント

【プール】

◇スタート練習会

今年度も成人とジュニア合同でのスタート練習会を実施致しました。

公式と同じ環境での練習は非常にニーズが高く、特に大会直前の開催などはすぐに予約が埋まります。

年間計10回開催し、トータル参加者は564名でした。



◇一から始める飛び込み教室

まだ、飛び込みに自信がなく、スタート練習会にはついていけない方を対象に一から始める飛び込み教室を実施致しました。

年間8回開催し、トータル参加者は196名になります。



◇プライベートレッスン

今年度もプライベートレッスンが好評の為、回数を増やして開催しました。参加人数は延べ132名になります。

参加者は子供から年配の方、障害のある方、非常に幅広い年齢層で、それぞれの泳ぎの悩みを相談に来られます。



◇スイム撮影会

今年度は1回の開催となりました。人気イベントのため、定員を10名にしましたが、最終12名で開催いたしました。参加者の泳ぎに合わせた解説動画が非常に好評です。



◇煩捨てイベント

毎年恒例となった年末の煩悩を捨て
る50m×108本泳ぐ「煩捨て」。

28名の方と一緒に50m×108
本を泳ぎ切りました。

今年も全員で泳ぎ切ることができま
した。



◇教室生獲得のための短期教室

教室生を増やす目的で短期教室を毎年開
催しています。GW短期教室(64名参加)、
夏の子供短期教室(207名参加)、冬の子
供短期教室(287名参加)、春の子供短期
教室(60名参加)。引き続きレギュラー教
室生の獲得に向けて進めてまいります。



◇水の安全DAY

昨年に引き続き今年度も衣服を着たまま
で泳ぐ水の安全DAYを実施致しました。
参加無料で、当日プールの利用者に声を掛
け、18名の参加者がありました。



◇アクアアスレチック

ことは5月と7月、8月にメインプー
ルにて開催し、延べ456名に参加して頂
きました。

京都アクアリーナは競技者志向のイメージ
が強いので、レジャープールの要素もある
事をアピールして利用者増に繋げていき
たいと思います。

